

II 普及活動

1 美術講演・講座

講演講座を実施することにより、多くの方々に展覧会の周知を図り、県民の美術への親しみや関心を深める。

(1) 講演会・シンポジウム・美術講座

会場 当館地階講堂（定員250名）

参加費 無料

期日	会場	講演	講師	内容	参加人数
24. 4. 15	講堂	「小川芋銭の人と芸術」	今瀬佐和（茨城県近代美術館主任学芸員）	展示中の作品の画像を用いながら、小川芋銭作品の根底にある老子の影響についての考察を行った。	66
24. 6. 2	講座室	「アルザスの暮らしと文化」	オレリー・ノエル氏（国際交流員）	フランスとドイツの国境地帯であるアルザス地方の暮らしと文化について、フランス人の視点で語られた。アルザス地方の風俗や文化的特殊性、特に言語や料理について、写真を交えながら紹介した。	62
24. 6. 24	講堂	「ストラスブール美術館展～モダンアートへの招待～」	澤渡麻里（茨城県近代美術館副主任学芸員）	ストラスブールの街の歴史や文化を紹介しながら、19～20世紀のモダンアートの歴史を概観した上で、展覧会の出品作品について解説を行った。	57
24. 6. 16	講堂	「国境のまちストラスブール～ドイツを生き、フランスを生きて～」	内田日出海氏（成蹊大学経済学部教授）	歴史学者である内田氏が、ドイツとフランスの国境の街ストラスブールについて、地理的な特徴や、時代によってドイツとフランスを往復してきた経緯を語った。また、ストラスブールの複雑な歴史的背景に起因する独特のアイデンティティについても言及した。	107
24. 8. 5	講堂	「戦時下における個の表現～陰影にみえる実在」	尾崎真人氏（京都市美術館学芸課長）	出身地であることから、須田の作品、資料を多数所蔵している京都市美術館の尾崎氏が、同館に蓄積された研究成果を踏まえ、須田について語った。陰影の表現に注目しながら、須田の作品内容と時代背景を解説した。	50
24. 8. 11	講堂	「拭いて描く」	山本文彦氏（日本芸術院会員） 片口直樹氏（茨城大学大学院准教授） 市川政憲	制作の過程で須田国太郎と同じように画面を拭き取りながら描いている画家2人がパネリストとなり、館長の司会のもとで須田の芸術についてそれぞれに意見を述べた。実作者からのコメントによって須田の制作上の特徴や特殊性を浮かび上がらせることができた。	69
24. 8. 19	講堂	「須田国太郎と近代絵画を考える」	井野功一（茨城県近代美術館主任学芸員）	スペインに留学した須田が、古典ばかりでなく同時代の芸術の動向にも強い関心を抱いていたことを前提に、須田の作品について解説した。	35
24. 11. 17	講堂	「本展に見る“私の選んだ銅版画ベスト10選”」	魚津章夫氏（元プリントアートセンター代表）	画商・出版者として、生前の堀井英男と深く親交し堀井の作品を深く理解する魚津氏が、出品作品の中から主に銅版画の代表作について、作家の人となりについて語った。	41
24. 12. 9	講堂	「文化資源としての水郷」	陣内秀信氏（法政大学デザイン工学部建築学科教授） 谷玄明氏（長勝寺前住職） 舟木力英	堀井英男の出身地である潮来市が水郷として知られた土地であることに着目し、堀井英男の作品と水の里とのかかわりや、村山密や小堀進らの潮来と関わりの深い作品、小川芋銭やモネなど水辺の風土ゆかりの美術について、建築・都市論や潮来郷土史の専門家を招き、当館学芸員とともに討議を行った。	58
24. 12. 22	講堂	「“画家兼版画家”堀井英男の生涯と作品」	永松左知（茨城県近代美術館学芸員）	堀井英男の作品（油彩画・版画・水彩画）について、出品作品を中心に、常に総合的な“絵画”を描いた画家としての堀井という観点から、作家と作品について講義を行った。	29

25. 1. 13	企画展示室、講座室	公開制作&トーク「堀井英男の銅版画技法を語る」	大沼正昭氏 (銅版画家、創形美術学校版画科主任)	創形美術学校での堀井の教え子であり銅版画家である大沼氏が、堀井英男の用いた技法を解説し、堀井の教授方法を紹介しながら、参加者にも体験していただく形で銅版画の公開制作を行った。	58
25. 3. 10	講堂	「二年後。今私たちはどこにいるのか」	河口龍夫氏 (出品作家) 北澤憲昭氏 (女子美教授) 小泉晋弥氏 (茨大教授) 市川政憲	東日本大震災がその前と後との分水嶺になっており、かつ現在は災害と災害との間の時代であるという共通理解のもとに、作家・評論家それぞれの立場から、東日本大震災と美術、関東大震災と美術について語った。	106
25. 3. 11	企画展示室出口	防災イベント「美術館員が語る『あの日』」	今瀬佐和(茨城県近代美術館主任学芸員)	美術館における東日本大震災の被災の様子やその後の対策について、茨城県近代美術館と天心記念五浦美術館の職員が映像を交えて語り、その後、来館者と共に避難訓練を行い、最後に黙祷を捧げた。	23
25. 3. 27	講堂	「ワイエスが愛したバッハの調べと丸沼芸術の森代表が語るワイエスの魅力」	演奏：須崎成美 講演：須崎勝茂	ワイエスが愛したバッハの曲を、プロのフルート演奏家である須崎成美氏が演奏した。また、生前のワイエスと交流のあった須崎氏が、ワイエス作品を入手した経緯や、ワイエスの言葉、ワイエスと氏にまつわるエピソードを語った。	119

合 計 880

(2) ギャラリートーク

企画展ギャラリートーク

学芸員や出品作家による企画展会場での作品解説。

時 間 午後1時30分から

期日	展覧会名	担当	参加人数
24. 4. 8	小川芋銭展	今瀬佐和(茨城県近代美術館主任学芸員)	49
24. 4. 12		今瀬佐和(茨城県近代美術館主任学芸員) ※ボランティア向け	20
24. 5. 9		今瀬佐和(茨城県近代美術館主任学芸員) ※ボランティア向け	13
24. 5. 13		今瀬佐和(茨城県近代美術館主任学芸員)	39
24. 6. 13	ストラスブル美術展	澤渡麻里(茨城県近代美術館副主任学芸員) ※ボランティア向け	22
24. 6. 17		澤渡麻里(茨城県近代美術館副主任学芸員)	36
24. 7. 8		澤渡麻里(茨城県近代美術館副主任学芸員)	82
24. 7. 15		澤渡麻里(茨城県近代美術館副主任学芸員)	38
24. 7. 26	須田国太郎展	井野功一(茨城県近代美術館主任学芸員) ※ボランティア向け	20
24. 8. 11		井野功一(茨城県近代美術館主任学芸員)	26
24. 11. 3	堀井英男展	永松左知(茨城県近代美術館学芸員)	30
24. 11. 10		永松左知(茨城県近代美術館学芸員)	21
24. 12. 1		永松左知(茨城県近代美術館学芸員)	12
24. 12. 2		永松左知(茨城県近代美術館学芸員)	20
24. 12. 20		永松左知(茨城県近代美術館学芸員) ※ボランティア向け	16
25. 2. 6	生々流転ものがたり	今瀬佐和(茨城県近代美術館主任学芸員)	13
25. 2. 13		今瀬佐和(茨城県近代美術館主任学芸員)	51
25. 2. 20		今瀬佐和(茨城県近代美術館主任学芸員)	38
25. 2. 27		今瀬佐和(茨城県近代美術館主任学芸員)	27
25. 3. 6		今瀬佐和(茨城県近代美術館主任学芸員)	39
25. 3. 13		今瀬佐和(茨城県近代美術館主任学芸員)	55
25. 3. 20		今瀬佐和(茨城県近代美術館主任学芸員)	60
25. 3. 8	二年後。自然と芸術、そしてレクイエム	今瀬佐和(茨城県近代美術館主任学芸員) ※ボランティア向け	23
25. 2. 10	出品作家によるギャラリートーク	野沢二郎(画家)	105
25. 2. 17		檜橋朝子(写真家)	32
25. 3. 3		井上直(画家)	50
25. 3. 10		河口龍夫(画家)	67
25. 3. 17		間島秀徳(画家)	55

25. 3. 27	丸沼芸術の森・ワイエス担当学芸員と みる「ワイエス展」	中村音代（丸沼芸術の森ワイエス担当学芸員）	82
			合 計 1,141

「ようこそ美術の森へ～学芸員と巡るコレクション」

学芸員がファシリテーターとなり、対話をとおして所蔵作品を鑑賞する。

毎月第三土曜日 午前11時から

期日	展覧会名	担当	参加人数
24. 4. 15	日本の近代美術と茨城の作家たちⅠ	春田友則（茨城県近代美術館主任学芸主事）	18
24. 5. 19	日本の近代美術と茨城の作家たちⅠ	春田友則（茨城県近代美術館主任学芸主事）	19
24. 6. 16	日本の近代美術と茨城の作家たち	平野扶佐子（茨城県近代美術館首席学芸員）	9
24. 7. 21	日本の近代美術と茨城の作家たちⅡ	永松左知（茨城県近代美術館学芸員）	0
24. 8. 18	日本の近代美術と茨城の作家たち	今瀬佐和（茨城県近代美術館主任学芸員）	10
24. 9. 15	日本の近代美術と茨城の作家たちⅢ	澤渡麻里（茨城県近代美術館副主任学芸員）	7
24. 10. 20	日本の近代美術と茨城の作家たちⅣ	平野扶佐子（茨城県近代美術館首席学芸員）	8
24. 11. 17	日本の近代美術と茨城の作家たち	澤渡麻里（茨城県近代美術館副主任学芸員）	9
24. 12. 15	日本の近代美術と茨城の作家たち	澤渡麻里（茨城県近代美術館副主任学芸員）	3
25. 1. 19	川—水辺の風景	井野功一（茨城県近代美術館主任学芸員）	11
25. 2. 16	日本の近代美術と茨城の作家たち	春田友則（茨城県近代美術館主任学芸主事）	18
25. 3. 16	日本の近代美術と茨城の作家たちⅤ	平野扶佐子（茨城県近代美術館首席学芸員）	13
			合 計 125

「コレクションミニガイド」

展示解説員（GS）による分かりやすい所蔵品案内を開館日は毎日開催する。

平日は、午後2時から

土・日・祝日は、午前10時からと午後2時からの2回

開催日数 287日

参加人数 2,874人

(3) 実技講座・ワークショップ等

期日	会場	テーマ	講師	参加人数
24. 8. 12		手作りスタンプで遊ぼう	当館職員	17
24. 8. 18		巨大折り紙で折ろう	当館職員	31
24. 11. 23		きんぴーぬり絵①	当館職員	84
24. 11. 24		きんぴーぬり絵②	当館職員	95
24. 11. 25		きんぴーぬり絵③	当館職員	98
24. 11. 25		なりきりきんぴー	当館職員	40
24. 12. 2		マスクングでコラージュ！	井上陽子（クラフト作家）	23
25. 1. 6		水彩画 幻視～夢・イメージを描く	長島 充（画家、版画家）	14
25. 1. 2		とべ！紙トンボ①	当館職員	7
25. 1. 3		とべ！紙トンボ②	当館職員	13
				合 計 422

(4) やあ！ミュージアムキッズ

子供や親子向けに、当館職員が美術の見方・楽しみ方などを伝えるイベント。所蔵作品展を鑑賞後、講座室でワークショップを行う。

日 時 毎月第2土曜日（8,10月を除く） 午前10時～12時 午後1時30分～3時30分

対 象 幼児～小学生（幼児は保護者と一緒に参加）

所蔵作品展の入場券（土曜日は高校生以下無料）

期日	展覧会	テーマ	参加人数
24. 4. 28	日本の近代美術と茨城の作家たちⅠ	ふかふか、みずこうかぶふね	95
24. 5. 12	日本の近代美術と茨城の作家たちⅠ	なににみえるかな？	51
24. 6. 9	日本の近代美術と茨城の作家たちⅠ	みつけよう！大すきな一まい	74
24. 7. 14	日本の近代美術と茨城の作家たちⅡ	くるくるまわるおもちゃをつくろう	73
24. 9. 8	日本の近代美術と茨城の作家たちⅢ	こんなポーズ、あんなポーズ	45
24. 11. 10	日本の近代美術と茨城の作家たちⅣ	じぶんだったら、こうしたい	33
24. 12. 8	日本の近代美術と茨城の作家たちⅣ	『え』のなかにはいったつもりで	61
25. 1. 12	川—水辺の風景	いろいろなところからみてみよう	60
25. 2. 9	川—水辺の風景	いろいろ、いろいろくみあわせ	80
25. 3. 9	日本の近代美術と茨城の作家たちⅤ	かっこつけると、かっこいいね	105
合 計			677

(5) ワークショップ「子どものためのオープンワークショップ」

幼児から小学生を対象に、身近な材料を使って造形体験や作品づくりをする。

会 場 地階講座室

時 間 午前10時～12時、午後1時30分～3時30分

参加費 無料

形 態 オープンワークショップ

期日	内容	参加人数
24. 7. 21	子どものためのオープンワークショップ夏	121
24. 7. 22	子どものためのオープンワークショップ夏	91
24. 7. 28	子どものためのオープンワークショップ夏	111
24. 7. 29	子どものためのオープンワークショップ夏	122
24. 12. 15	子どものためのオープンワークショップ冬	65
23. 12. 18	子どものためのオープンワークショップ冬	53
25. 3. 2	子どものためのオープンワークショップ春	70
25. 3. 3	子どものためのオープンワークショップ春	45
※夏のオープンワークショップは茨城大学教育学部との連携事業		合 計 678

2 アートフォーラム

●内 容 来館者に美術に親しんでもらうための教育普及のスペース。

●入場者数 37,203人

(1) 展示コーナー

解説パネルコーナーと体験コーナーからなる当館所蔵品の魅力をわかりやすく紹介する。

展示期間	関連企画展	主 な 内 容	利用人数
4/ 1～5/20	小川芋銭展	日本画の技法、材料等を中心に、小川芋銭関連の書籍やパネルも併せて展示	6,275
5/21～7/16	ストラスブール美術館展	国境の街ストラスブールの歴史と街並みや伝統料理などの紹介、近代の美術の流れについての紹介	6,270
6/17～9/28	須田国太郎展	油彩画の技法や材料の紹介、中村彝の作品パネルや動物を描いた複製画の展示、折り紙で動物を作る創作体験	5,481
10/15～1/20	水から生まれる展	潮来市（堀井英男出生地）の紹介、茨城の作家紹介、銅版画（複製）の展示、マスキングテープによる創作体験	7,081
1/21～3/20	自然と芸術、そしてレクイエム展	3.11 東日本大震災報告写真展（主催：茨城ユニセフ協会）の開催	11,293
3/26～3/31	丸沼芸術の森所蔵 アンドリュウ・ワイエス水彩・素描展	筑波大学 創造的復興教育プログラム 活動報告の展示発表	803
合 計			37,203

(2) 情報コーナー

大型プラズマTVの映像ブースと6台のタッチパネル式パソコンブースを設置し、DVDの番組や9つの能動的な美術鑑賞のソフトにより、子どもから大人まで楽しめるコーナー。

(ソフト内容)

- ・茨城県近代美術館へようこそ
- ・イベントナビ
- ・みんなDEアート
- ・デジタルアートライブラリー
- ・バーチャルミュージアム
- ・アトリエへようこそ
- ・体験！キミも学芸員
- ・芋銭さんの不思議な世界
- ・まよなかのびじゅつかん

(3) 図書コーナー

雑誌 2,034冊

図書 2,477冊

3 ミュージアムシアター

時間 午後1時開場 午後1時20分展覧会トーク 午後1時30分開映

場所 地階講堂

参加費 無料

期日	内容	監督/出演 他	参加人数
24. 5. 15	「シルビアのいる街で」	監督：ホセ・ルイス・ゲリン	207
25. 1. 18	「波山をたどる旅」	監督：西川文恵/主催：プロジェクト茨城	243
25. 2. 9	「男はつらいよ 寅次郎紅の花」	監督：山田洋二/全国美術館会議支援事業	130
25. 2. 16	「なみのおと」	監督：濱口竜介/全国美術館会議支援事業	53
25. 2. 23	「がんばっぺ フラガール〜フクシマに生きる。彼女たちの今」	監督：小林正樹/全国美術館会議支援事業	102
25. 2. 26	「波山をたどる旅」	監督：西川文恵/主催：プロジェクト茨城	113
25. 2. 27	「波山をたどる旅」	監督：西川文恵/主催：プロジェクト茨城	64
25. 2. 28	「波山をたどる旅」	監督：西川文恵/主催：プロジェクト茨城	71
25. 3. 1	「波山をたどる旅」	監督：西川文恵/主催：プロジェクト茨城	66
25. 3. 2	「波山をたどる旅」	監督：西川文恵/主催：プロジェクト茨城	97
25. 3. 3	「波山をたどる旅」	監督：西川文恵/主催：プロジェクト茨城	112

合計 1,258

4 ミュージアムコンサート

場所 1階エントランスホール、地階講堂

参加費 無料（ハガキによる申込制）

期日	時間	内容	備考(共催等)	参加人数
24. 7. 7	18:30~20:00	「七夕コンサート〜ヴァイオリンとピアノによる印象主 義音楽の夕べ」 橘知里 (ピアノ) 茂木立真紀 (ヴァイオリン)	茨城文化振興財団	280
24. 8. 3	15:30~16:30	「バロック音楽の世界〜リコーダーの巨匠エヴァ・レジェヌと仲間たち」 エヴァ・レジェヌ (リコーダー) 牧真之 (チェンバロ) 村石達哉 (ヴァイオリン) 宮澤等 (チェロ)		190
24. 11. 24	15:00~16:30	ポエトリーコンサート「堀井英男の詩画集 朗読と上映会」 和島香太郎 (映像作家) 塩谷 亮, 遠島立夫, 澤田考司 (水戸芸術館専属劇団 ACM 俳優)	ミュージアム活性化事業 実行委員会	100
25. 1. 5	14:00~15:40	伝統芸能 人形浄瑠璃の世界	ミュージアム活性化事業 実行委員会	250

25. 3. 16	18:30～20:00	「レクイエム～明日へ」 埴垣寿美（ソプラノ） マイケル・D・マクレイン （バリトン） 江幡和子, 田中 直子（ピアノ） フォーレ・レクイエムを歌う会, Coro La DIVA, NHK水戸児童合唱団, アンサンブルさくら （合唱）	助成：全国美術館会議	387
25. 3. 20		弾けないピアノ・クロージングコンサート		90
合 計				1,297

5 企画展関連その他のイベント

期日	時間	内容	企画展名	参加人数
24. 5. 5	11:00～11:40	牛久の民話		86
24. 5. 5	14:00～14:40	浅野久子, 坂入和子	小川芋銭展	69
24. 5. 6	11:00～11:40	(牛久おはなしコップの会)		48
24. 5. 6	14:00～14:40			26
24. 7. 21 ～8. 26		館内スタンプラリー	須田国太郎展	289
24. 9. 22			堀井英男展プレ企画	9
24. 9. 29		移動展：水郷まち歩き	堀井英男と茨城県近代美術館コレ	12
24. 10. 6			クション展	7
24. 11. 3 ～11. 30		館内クイズラリー	堀井英男展	170
25. 3. 1		子連れ美術館探検 あかちゃん連れらくらく 美術館セミナー	二年後。自然と芸術, そしてレクイ エム	14
25. 3. 27 ～3. 31		館内スタンプラリー	朝霞市 丸沼芸術の森所蔵アード リュウ・ワイエス水彩・素描展	26
合 計				603

6 中村彝アトリエ

- 内 容** 水戸市出身の中村彝は洋画家として明治の終わりから大正期にかけて美術界で活躍したが、大正13年に37歳でこの世を去った。彝の制作舞台になった東京都新宿区下落合のアトリエを当館敷地内に新築復元し公開している。
- 公開時間** 午後1時～3時
(土・日・祝日は午前10時30分から公開)
- 入場者** 2,736人



7 団体利用

- 内 容** 来館した団体に対し、希望により美術館や展覧会の概要を説明する オリエンテーションなどを行った。

来館状況	団体数	人数
計	239	7,719

オリエンテーション実施状況	団体数	人数
計	176	6,587

8 移動美術館

前掲

9 美術館セミナー

- 目的 学校における美術館利用の促進、学校教育に対応した美術館事業の効果的实施を図るとともに、美術館と学校との連携を進める。

期日	時間	内容	講師	参加人数
24. 6. 15		館外実施①（潮来市） 1 連携事業紹介 2 移動美術館連携協議	当館職員	20
24. 6. 16	10:00～15:30	第1回 1 連携事業紹介 2 アートカード演習 3 美術講演会「国境のまちストラスブル〜ドイツを生きフランスを生きて」	内田 日出海 (成蹊大学経済学部 教授)	17
24. 8. 17		館外実施② 1 連携事業紹介 2 演習「子どもの絵の見方」	当館職員	18
24. 8. 24	10:00～15:30	第2回 1 対話式鑑賞演習 2 美術教育講演会「これからの鑑賞教育」	岡田 京子 (文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程院センター 研究開発部 教育課程調査官)	143
24. 10. 13	10:00～15:30	第3回 1 講義「子どもの絵の見方」 2 演習「水彩絵の具の使い方」	当館職員	50
24. 12. 27	10:00～15:30	第4回 1 企画展鑑賞 2 実技講座「銅版画の魅力」	田島 直樹 (筑波大学芸術系 准教授)	21
25. 2. 23	10:00～15:30	第5回 1 学校連携事業紹介 2 ワークショップ「風に泳ぐバランス・アートをつくろう！ー見えない風との出会い」	高田 洋一 (現代美術家、彫刻家)	12
合 計				281

10 出前授業・出前イベント「ハロー！ミュージアム」

- 目的 学校や各施設における美術館利用の促進、美術鑑賞に対応した美術館事業の効果的实施に資するために、出前授業・出前イベントを開催する。

●始業時期 平成15年10月～

●内容 DVD、当館製作のパソコンソフト、プロジェクター、スクリーンを搭載した公用車で、希望する学校や各種施設などに訪問して行う美術館職員によるトークを組み合わせた館外イベント。

(1) 出前授業

美術館職員がゲストティーチャー（GT）として、授業に参加。担任の先生と美術鑑賞の授業を展開する。

(2) 出前イベント

美術館職員がオープニングから作品鑑賞、エンディングまで展開する。

平成23年度出前授業・出前イベント「ハロー！ミュージアム」実績（団体別実績）

団 体	稼働日数	上映回数	人 数
幼 稚 園	10	10	775
小 学 校	49	118	7,015
中 学 校	9	14	1,195
高 等 学 校	0	0	0
養 護 学 校	4	5	131
福 祉 施 設	1	1	45
公民館・図書館	10	29	716
各 種 団 体	10	31	621
館 内 上 映	2	2	137
大 学	0	0	0
合 計	95	210	10,635

11 学校・地域との連携

(1) 職場体験受入

期日	学校名	参加人数
6/12～6/22	茨城県立水戸特別支援学校（土日月を除く）	1
7/11～7/13	東海村立東海南中学校	2
7/31, 8/1	笠間市立岩間中学校	3
8/1	水戸市立笠原中学校	4
8/7	常陸大宮市立大宮中学校	2
8/7～8/9	茨城大学教育学部附属中学校	4
8/8	水戸市立水戸第四中学校	5
10/4, 10/5	茨城県立水戸商業高等学校	5
11/7, 11/8	ひたちなか市立佐野中学校	3
11/7, 11/8	ひたちなか市立勝田第二中学校	4
11/15, 11/16	ひたちなか市立勝田第一中学校	5
11/21, 11/22	常陸大宮市立緒川中学校	2
11/27, 11/28	ひたちなか市立大島中学校	6
11/29	第一学院高等学校(水戸キャンパス)	3
1/23～1/25	茨城県立笠間高等学校	5

合 計 54

(2) 教職員等研修

期日	団体名	参加人数
24. 5. 25	県図工美術研究部研修会	46
24. 7. 31	初任者研修（中A）研修センター	99
24. 8. 7	県図工美術研究部研修会	88
24. 7. 25	初任者研修（高）研修センター	92
24. 8. 8	初任者研修（中B）研修センター	97
24. 8. 22	初任者研修（小A）研修センター	112
24. 8. 28	初任者研修（小B）研修センター	95
25. 2. 19	県図工美術研究部研修会（部長会議）	46
25. 2. 21	県図工美術研究部研修会	53

合 計 728

(3) 茨城大学との連携

①美術館における大学のインターンシップ授業の開催

担当 片口直樹（茨城大学准教授）

「総合演習」の授業を通して、夏のオープンワークショップの企画運営を連携で実施
茨城大学教育学部 学生 23 名参加

②大学の授業の一部を美術館で展開

茨城大学教育学部「図画工作科内容研究」の授業として、所蔵品の解説を含む作品鑑賞と、美術館における普及活動についての説明を内容とした授業を展開した。

期日	内 容	参加人数
5. 12	図工内容研究（美術館見学・小川芋銭展鑑賞）	30
5. 13	〃	14
5. 17	〃	14
5. 19	〃	16
11. 28	美術教育研究Ⅰ（学芸員の仕事・堀井英男展鑑賞）	14
2. 18	素描 集中講義（彫刻模写・所蔵作品展鑑賞）	12

合 計 100

③美術館アカデミー

大学の研究内容を美術館で公開した。

期日	内容	講師	参加人数
24. 6. 2	ブルネレスキ 近世の黎明	甲斐教行（茨城大学大学院教授）	44

合 計 44

(4) 作家派遣事業

期日：平成 23 年 12 月 4 日

目的：芸術に対する関心を高めるとともに、美術家の制作活動や生き方に触れ、キャリア教育の一助とする。

内容：「風で動くバランス・アートをつくろう！—地球の見えない力を捉まえるアート講座」

講師：高田洋一氏（現代美術家・彫刻家）

銚田市立太洋中学校 1・2 学年生徒 100 名が、ケント紙と竹ひごを使った『バランス・アート』の制作を行った。この立体は、僅かな風でも運動し、地球の見えない力（重力・空気・風）の存在を意識させるもので、私たちが地球の秩序と共にあることを改めて実感できる活動となっている。完成した作品は、エントランスホールに展示し、一般公開した。

(5) その他、関係機関・団体等との連携・協働事業

①県立図書館との連携

玄関ロビーに展覧会を紹介するコーナーを設置し、各展覧会毎にポスターやイベントチラシを掲出。また、通年で開催されているライブラリーシアター、春と秋の読書フェスティバルに参加し、ハロー！ミュージアムの開催及び展覧会等の広報活動を行った。

②地元事業者（洋菓子店等）との協働

「ストラスブール美術館」展の会期中に、展覧会の雰囲気盛り上げ、展覧会への来場促進を図るため、地元事業者（洋菓子店等）と協働し「パティスリー・焼き菓子フェア」を開催した。

開催日 7月7、8日及び14から16日 計5日間

来場者 2,176人

③地元事業者（洋菓子店、雑貨店、飲食店等）との協働

ブログのマスコットキャラクター「きんびー」に対する美術館利用者の支援への感謝や、美術館の賑わいを創出し当館利用者数の向上に寄与するため、地元事業者（洋菓子店、雑貨店、飲食店等）と協働し「マルシェ・ド・ノエル」を開催した。

開催日 11月23から25日 計3日間

来場者 4,031人

④カモ井加工紙株式会社との共催

「堀井英男」展において、アートフォーラムにおける展示への資材提供とともに、関連イベントのワークショップ「マスキングテープでコラージュ」の講師紹介の協力をいただいた。

⑤茨城県ユニセフ協会との連携

「二年後。自然と芸術、そしてレクイエム」展にあわせ、アートフォーラムコーナーにおいて「3・11 東日本大震災報告写真展示」を開催した。

⑥筑波大学との連携

「朝霞市 丸沼芸術の森所蔵アンドリュー・ワイエス水彩・素描展」にあわせ、アートフォーラムコーナーにおいて、筑波大学創造的復興教育プログラム（CR）による活動報告展示を行った。

⑦美術館内レストラン（民間：施設使用許可先）との協働

展覧会にちなんだ特別メニューやレストラン満席時のテイクアウトメニューの開発を依頼。美術館ではテイクアウトメニューを摂ることのできる屋外の休憩スペース（テラスに椅子とテーブルを設置）を用意した。

12 アートカード

(1) **内容** 茨城県ミュージアム活性化支援事業実行委員会の支援を受けて制作。当館所蔵作品 64 点カードと活用の手引きをセットにして、団体来館時の鑑賞ワークショップ、ボランティア研修等に活用。次年度からは、学校等への貸出を行う予定。

(2) **個数** 8セットずつ10組 ばら 20セット 合計100セット

13 複製画

●**内容** 環境教育、美術の授業、他教科への応用、部活動での活用等を目的とした学校教材として、主に学校向けに複製画の貸出を行っている。

●**複製画点数** 156 点

●**貸出実績** 74 件 270 点

14 博物館実習

●**概要** 博物館法5条1項第1号に該当するものを対象とし、当館の活動に携わることを通して、体験的に学芸員の職務の理解に資することを目的に、各大学からの依頼に基づき実施している。

●**参加大学** 茨城大学 実践女子大学 聖徳大学 筑波大学 二松学舎大学 明治学院大学

●**参加人数** 8人

●平成24年度学芸員実習プログラム

期日	時間	実習テーマ	形態	場所
8/18 (土)	9:00～9:30 9:30～9:50 10:00～10:50 11:00～12:00 13:00～14:30 14:40～16:20 16:30～17:00	オリエンテーション 自己紹介・職員紹介 美術館建築の実際 美術館の組織と運営 企画展・所蔵作品展鑑賞 美術館における鑑賞シートの作成① まとめと反省	視察 講義 視察 実習	会議室 事務室 館内 会議室 展示室 会議室 会議室
8/19 (日)	9:00～9:40 9:50～12:00 13:00～14:00 14:10～16:20 16:30～17:00	作品保存の実際(野外彫刻の洗浄と保存処理) 図書資料等整理の実際① 展覧会のあり方と実際 図書資料等整理の実際② まとめと反省	講義 実習 講義 実習	会議室 資料室 会議室 資料室 会議室
8/20 (月)		休館日		

8/21 (火)	9:00~10:00 10:10~11:00 11:10~12:00 13:00~13:50 14:00~14:50 15:00~16:20 16:30~17:00	「美術館教育」における普及活動の概要と意義 美術館における広報活動の実際と意義 美術館における鑑賞シートの作成② 学校等教育機関との連携と意義 普及活動(アートフォーラム・各種講座等)の実際 美術館における鑑賞シートの作成③ まとめと反省	講義 講義 実習 講義 実習	会議室 会議室 会議室 会議室 会議室 会議室 会議室
8/22 (水)	9:00~10:00 10:10~11:00 11:10~12:00 13:00~14:10 14:20~16:20 16:30~17:00	作品の収集について 美術館ボランティアのあり方と実際 美術館における鑑賞シートの作成④ 館長講話 展示解説員のあり方と実際 まとめと反省	講義 講義 実習 講義 講義 実習	会議室 会議室 会議室 会議室 展示室 会議室
8/23 (木)	9:00~ 9:50 10:00~10:50 11:00~12:00 13:00~16:20 16:30~17:00	映像を使った鑑賞教育 作品整理のあり方 作品整理の実際① 同上 まとめと反省	講義実習 講義 実習	講座室 会議室 収蔵庫 会議室

15 ホームページ (<http://www.modernart.museum.ibk.ed.jp/>)

●パソコン版ホームページ

(1) 概要

美術館利用者の利便を図るため、利用案内、あるいは美術館で開催する展覧会およびイベント情報、さらに出版物や所蔵作品などについて、多様な来館者を想定して情報を提供している。また、申込書など各種様式をダウンロードすることができ、問い合わせは同サイト上よりメールを送信することも可能。

開催中の企画展紹介を中心に、最新のニュースや該当月のイベント情報を列記している。また、美術館近隣のギャラリーでのイベント情報を掲載しており、茨城県的美術館(つくば美術館・天心記念五浦美術館・茨城県陶芸美術館)各サイトへのリンクと共に、近隣施設のイベント情報が確認できる。

(2) ページ構成

- ① 展覧会
- ② イベント
 - ・各種イベントの概要説明とPR
- ③ キッズページ
 - ・子ども向けのイベント紹介。
- ④ 教育・研究
 - ・学校や各種施設を対象にしたイベントの紹介とレポート。
- ⑤ アーカイブス
 - ・茨城県近代美術館協議会、過去の展覧会やコレクションの紹介、教育普及活動のレポート
- ⑥ English Information
 - 「Greetings」「Basic Philosophy」「Activities」「Museum Hours&Access」
 - 「Special Exhibition Information」



ブログキャラクター「きんぴー」

(3) 関連リンク他

- ・茨城県近代美術館ブログ

ブログキャラクターの「きんぴー」を案内役に、美術館職員との対話形式で展覧会やイベントの様子などを紹介。

(4) アクセス数 155,140件 (トップページアクセス件数)

●モバイル版ホームページ

(1) 概要

高度情報通信ネットワーク社会に対応し、効果的な情報発信と顧客へのサービス向上を図るため、美術専門雑誌を刊行する出版社が運営するモバイルコンテンツを利用して、展覧会やイベント情報などを発信している。

(2) ページ構成

- ① お知らせ
 - ・企画展でのイベント情報などを中心に紹介
- ② 企画展スケジュール
- ③ 所蔵作品展

④ インフォメーション

- ・子ども向けワークショップ，レストラン，ミュージアムショップ，車椅子の利用案内等について紹介

⑤ 利用案内

- ・利用時間，休館日，入館料，アクセス方法を掲載

(3) **アクセス数** 23,605 件（トップページ年間アクセス総数）

16 美術品簡易模写

●概要

本物の作品の模写を通して絵画の構図や色彩，画家の作風や技法等の理解を図るために主として中学生，高校生を対象に当館の美術品（所蔵品に限る）簡易模写を実施した。（平成23年年度からの新事業）

実施回数	参加学校数	参加人数	1回あたりの時間	模写の場所
13回	13校	314人	3～4時間	常設展示室 エントランスホール

17 広報印刷物

- ・美術館だより
No. 90 平成 23 年 7 月 23 日
No. 91 平成 23 年 9 月 28 日
- ・展覧会イベントスケジュール 2012 年 4 月ー2013 年 3 月 平成 24 年 3 月 31 日
- ・茨城県近代美術館スケジュールカレンダー「美術館で楽しもう！」(子ども向け年間スケジュール) 平成 24 年 3 月 25 日
- ・英語版美術館案内 平成 24 年 2 月 1 日
- ・「こどものためのワークショップガイド 2012」 平成 24 年 1 月 26 日
- ・平成 22 年度年報 平成 23 年 12 月 24 日
- ・【拡大版】ようこそ！美術の森へ 平成 23 年 2 月 17 日
- ・「美術館へ行こう！」 平成 23 年 12 月 10 日



美術館だより No. 90



美術館だより No. 91



展覧会イベントスケジュール



茨城県近代美術館スケジュールカレンダー
「美術館で楽しもう！」



英語版美術館案内



こどものための
ワークショップガイド 2012



平成 22 年度年報



【拡大版】ようこそ！美術の森へ



美術館へ行こう！